

令和 4 年度第 2 回沿岸広域振興圏地域連携懇談会における第 2 期地域振興プラン（素案）に係る御意見への対応

開催日時：令和 4 年 12 月 7 日（水）午後 2 時～午後 4 時

場 所：釜石地区合同庁舎 大会議室

No.	御意見		対応状況	
	基本方向	内容	所管部室	内容
1	I 復興	<p>【椎屋 百代 委員】</p> <p>各地の震災ガイドの交流促進や育成・支援が掲げられているが、「育成」というところでどのようなことをしていくのか。ガイドが高齢化しているところもあり、地域でのガイドを募集しないといけない。震災ガイドは、なりわいとしては難しいのでどう支援していくかが課題。</p>	企画推進課	<p>東日本大震災津波の経験や教訓については、地域防災に生かしながら次世代に伝承することが重要であることから、取組方向に「震災ガイドの交流促進や育成支援」を盛り込み、市町村や関係機関と連携しながら各地の震災語り部ガイドの意見交換会等の開催を通じてガイド等の育成支援に取り組むとともに、震災学習を核とした教育旅行や震災伝承施設の活用等による復興ツーリズムなどにより誘客に取り組むこととしています。</p>
2	I 復興	<p>【佐々木 淳子 委員】</p> <p>先般の台風の被害で山の津波も大変なものと感じる。今、砂防ダムや急傾斜地崩壊対策工事が盛んに行われており、感謝する。</p>	土木部	<p>引き続き、土砂災害に備え、避難所、社会福祉施設、学校、病院などが立地する箇所や過去に被災したことのある箇所で、砂防ダムや急傾斜地崩壊対策施設の整備を進めます。</p>
3	I 復興	<p>【内金崎 加代子 委員】</p> <p>一時的に避難できる場所が設けられているが、とても行けるようなところでない箇所、夜間・荒天時や高齢者が行くことが困難ではないかと思われるところがある。そういうところの整備に力を入れてもらえれば。</p>	経営企画部（総務課）	<p>一時的な避難場所となる指定緊急避難場所については、市町村において地域の実情に応じて指定しているところですが、御提言の内容を市町村と共有するとともに、災害時に住民が迅速に避難できるよう、県としても地域防災サポーターの派遣や市町村の防災会議への参画等の取組を通じて、市町村の避難体制の整備を支援していきます。</p>

4	Ⅱ 安心	<p>【佐々木 淳子 委員】</p> <p>震災から10年以上たつが、こころのケア、ゲートキーパーや傾聴ボランティアの活動は大事。11年たって初めて語る人もいる。こころの復興が大切だと思っており、人の話を聞いてあげられる環境をつくってほしい。</p>	保健福祉環境部	<p>こころのケアについては、時間の経過とともに複雑化、多様化すると言われる、身体的な健康度によっても大きく変化するため、継続的な支援を行うことが重要であり、こころに、不安やストレスを抱えたり、孤立感などを感じている被災者に対して、岩手県こころのケアセンターやいわてこどもケアセンターと連携し、心のケアを行います。</p> <p>また、傾聴ボランティアなどの育成を通じて、被災者のこころに寄り添う取組を支援します。</p>
5	Ⅱ 安心	<p>【佐藤 智子 委員】</p> <p>交通機関がかなり減っている。国道しかバスが通ってなく、本数も少ない。街に出かけられる、買い物に出かけられることは高齢者がいきいきとした生活につながっていくことから検討していただければ。</p>	企画推進課	<p>住民の日常生活を支える交通手段の確保・維持については、高齢者などの買い物や通院、住民が交流の場へ出かけるための移動手段として重要であることから、取組方向に「交通手段の確保・維持」を盛り込み、地域公共交通会議への参画などを通じ、市町村による地域公共交通確保の取組を支援していくこととしています。</p>
6	Ⅱ 安心	<p>【赤坂 広太 委員】</p> <p>三陸ジオパークの保全活動を進めるとあるが、具体的にはどのように進めるのか。</p>	保健福祉環境部	<p>三陸ジオパークの保全活動については、具体的取組として、地域の環境保全団体への三陸ジオパークを活用した環境学習活動の委託や、地域や団体等と連携したジオサイト等の清掃活動等を実施し、これらの取組を通じて三陸ジオパークを含む自然環境の保全と活用を推進します。</p>
7	Ⅱ 安心	<p>【椎屋 百代 委員】</p> <p>結婚支援は街コンなどで支援いただいていたと思うが、募集してもなかなか来ない話を聞く。街コン以外で何か考えているか。</p>	保健福祉環境部	<p>結婚支援は、県として少子化対策の一環として重要な取り組みと考えていますが、企業等で結婚しやすい環境を整えれば、仕事も子育てもしやすい環境づくりにも繋がることから、企業等と連携し、職域を通じた情報の提供などの取組を盛り込みました。</p>
8	Ⅱ 安心	<p>【内金崎 加代子 委員】</p> <p>お年寄りの引きこもりが深刻と感ずることがある。何かもう少し対策ができれば。</p>	保健福祉環境部	<p>お年寄りの引きこもりについて、高齢者が健康で文化・スポーツ活動などの生きがいがづくりに取り組むことができるよう、通いの場の周知など、社会参加活動を通じた住民主体の健康づくりや介護予防の取組等を推進します。</p>

9	Ⅱ 安心	<p>【佐藤 智子 委員】</p> <p>傾聴ボランティアの養成は続けてほしい。若い方にも傾聴を学んでいただき、地域のゲートキーパーとして参加していけば、つながりができ、見守りにつながっていくのではと考える。</p>	保健福祉環境部	<p>岩手県では包括的な自殺対策の一環としてゲートキーパー、傾聴ボランティア等の人材育成に力を入れています。地域、職域へ傾聴のスキルを伝えることは重要であり、傾聴ボランティアなどの育成を通じ、住民一人ひとりが周囲の方のこころの不調に気づき、お互いに見守りながら、地域で支え合う取組を推進します。</p>
10	Ⅱ 安心	<p>【赤坂 広太 委員】</p> <p>誰もが気軽に楽しめるスポーツ機会の創出とあるが、いわてサイクルステーションの取組を盛り込むとか、みちのく潮風トレイルの活用を盛り込むなどをしてもらえれば。実際に来ることで復興の様子がわかり、地元の経済もうまくいくのでは。</p>	企画推進課	<p>沿岸圏域では、御意見にあったいわてサイクルステーションやみちのく潮風トレイルが整備され、スポーツアクティビティの取組が進められています。このことを踏まえ、第2期地域振興プランでは、取組方向に「スポーツとの多様な関わり方を広げる」ことや「スポーツ施設やスポーツイベントなどの資源を活用し、スポーツツーリズムを推進」することを盛り込み、県内外との交流人口拡大による地域振興を推進することとしています。</p>
11	Ⅲ 産業	<p>【椎屋 百代 委員】</p> <p>地元で仕事をしている方を呼んで、5～10分程度で子どもたちが質問する取組を行っている小学校がある。小さいころから地元こういう企業があることを理解してもらうのにはいい取組と思うので、参考にしてほしい。</p>	産業振興室	<p>キャリア教育については、若者の地元への就職意識を高めることが必要であることから、「県が取り組む具体的な推進方策」に「小中高生を対象に企業見学会や出前授業を行い、職業別のライフプランについて情報提供する」ことを盛り込み、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育により仕事や産業、地元企業への理解促進に取り組むこととしています。御意見の取組については、今後の取組の推進に当たって参考とさせていただきます。</p>

12	Ⅲ 産業	<p>【金澤 辰則 委員】</p> <p>移住・定住への関心が高まっているのを肌感覚で感じているが、来たい人がいても希望に沿う住まいがないことがあった。住宅施策の部分でも県として力を入れてほしい。</p>	産業振興室（関連：土木部）	<p>移住や定住を希望する方の住まいについては、移住を検討する際には仕事とともに住まいや暮らしのイメージも重要な要素であり、移住前の現地訪問の促進や移住後の住まいへの支援に取り組むことが重要と考えています。</p> <p>そのため、県では、政策推進プランの「県が取り組む具体的な推進方策」に「本県への移住・定住を促進するため、県営住宅のストックを活用し、移住希望者や若者などが安心して生活できる環境を提供する」ことを盛り込むとともに、地域振興プランにおいても、暮らしや移住・定住イベント等の情報提供を行うことを盛り込みました。</p> <p>今後、市町村と連携して、若者や移住者などの空き家住宅の取得等に対する支援や情報提供に取り組むこととしています。</p>
13	Ⅲ 産業	<p>【佐々木 淳子 委員】</p> <p>アカモクの商品化を目指している。海には当たり前にあると思っていたが、今年は確保できなかった。何とか商品化にこぎつけたいと思っている。</p>	水産部	<p>水産物の付加価値向上については、推進方策に「漁業者や漁協女性部などによる6次産業化」や「地域水産物のPRやブランド化」などを盛り込み、引き続き取り組むこととしています。</p>
14	Ⅲ 産業	<p>【佐々木 淳子 委員】</p> <p>漁業の就労希望者の受入れをしているが、なかなか根付かないところ。漁業者自身も考えていかないといけないところ。</p>	水産部	<p>新規漁業就業者の確保・育成については、推進方策に「漁業就業希望者の掘り起こしや新規漁業就業者の育成」や「いわて水産アカデミーを核とした人材養成」を盛り込み、引き続き取り組むこととしています。</p>
15	Ⅲ 産業	<p>【岩城 創 前委員】</p> <p>農家の経営力向上やスマート農業、新規担い手の確保は必要なので進めてほしい。</p>	農林部	<p>地域農業を担う経営体の育成には、経営力向上やスマート農業の普及、新規就農者の確保が重要であることから、取組方向に「地域農業を担う経営体の育成」を盛り込み、経営体の経営改善、スマート農業技術の導入促進、就農相談会の開催等に取り組むこととしています。</p>

16	Ⅲ 産業	<p>【岩城 創 前委員】</p> <p>有機農業をしているが病虫害が多く、収量が落ちたりして不安定な部分があり、食糧自給率を下げってしまうギャップを感じる。これから有機農業をやりたい人や地域がスムーズに取りかかることができるような体制を作っておくことが必要では。</p>	農林部	<p>有機農業など環境への負荷を低減した農業生産の推進については、政策推進プランに「安全・安心な産地づくりの推進」を盛り込むなど、県として、環境負荷低減技術の導入や化学肥料の使用量低減を推進することとしており、御意見の有機農業の推進体制の構築については、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。</p>
17	Ⅲ 産業	<p>【椎屋 百代 委員】</p> <p>インボイスが始まることで、産直をやめてしまう方がいそう。誘客力よりも前に担い手が厳しくなってくるのでは。</p>	農林部	<p>地域農業の活性化には、産直出荷者なども含めた、地域農業を支える多様な担い手を確保・育成することが重要であることから、取組方向に「地域農業を担う経営体の育成」を盛り込み、経営体の経営改善、就農相談会や農業入門塾の開催等により担い手の支援に取り組むこととしています。</p>
18	Ⅲ 産業	<p>【志田 宏美 委員】</p> <p>道路はどのような道路ができてきたかが大事。例えば、道路はできたがトレーラーが自由に曲がれないなど、整備の状況によって入る港が選ばれてしまう。</p>	土木部	<p>沿岸圏域の産業競争力を強化するため、内陸部と港湾を結ぶ、宮古盛岡横断道路の整備を促進するとともに、一般国道 107 号白石峠の整備など、物流の基盤となる道路整備の推進と活用を図ることとしており、いただいた御意見は、今後の取組の推進に当たり参考とさせていただきます。</p>
19	その他	<p>【志田 宏美 委員】</p> <p>プランにはたくさん盛り込むよりはもう少し絞って、今回はこれを達成したということが分かるようにした方がよいのでは。ここはどこにも負けないというものを取り入れられれば。</p>	企画推進課	<p>アクションプランは長期ビジョンに掲げた「目指す姿」の実現に向けた実効性を確保するために、長期ビジョンにある取組方向についての重点的・優先的に取り組む施策やその具体的な推進方策を明らかにするものとなっています。</p> <p>第2期地域振興プランにおいては、各広域振興圏でも政策推進プランにおける4つの重点事項について重点的な施策展開を図ることとしており、御意見の趣旨も踏まえ、今後の施策展開を進めていきます。</p>

※ 基本方向

- I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域
- II 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域
- III 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域